

■河東碧梧桐 俳人。高浜虚子と共に子規門の双璧とされ、全国行脚に出て、革新的試みをするも受け入れられず。

かわひがしへきごどう

明治6年政変 1873= 松山市千船長で、生まれる。

大久保暗殺・1878= 5歳：勝山小学校に入学。

琉球処分・1879= 6歳：\_父から、正岡子規を紹介され、

明治14年政変1881= 8歳：

新体詩抄・1882= 9歳：\_高浜虚子と知り合う。

帝国大学始・1886=13歳：松山高等小学校に入学。

国民之友始・1887=14歳：伊予尋常中学校に入学。

初の対等条約1888=15歳：\_虚子らの回覧誌(同窓学誌)に参加。

帝国憲法発布1889=16歳：帰省した子規にベースボールを教わる。

帝国議会始・1890=17歳：\_子規に俳句を学び、さまざまな雅号を用い始める。

足尾鉍毒始・1891=18歳：一高受験のため上京するが、失敗し、伊予尋常中学校に復学。

郡司千島探検1893=20歳：京都の第三高等中学予科に入学。虚子とともに下宿。

日清戦争始・1894=21歳：学制改革のため、虚子とともに、仙台第二高等学校に転校するが、\_退学して上京、{子規庵}に入る。

日清戦争終・1895=22歳：虚子とともに下宿し、遊蕩生活。神戸病院に、子規を見舞う。日本新聞社に入社するも、

白馬会・1896=23歳：退社。\*高浜虚子と共に子規門の双璧と目され、

八幡製鉄始・1897=24歳：\_{ほとゝぎす}が発刊されると、選句を担当。

子規句歌革新1898=25歳：子規の句会に参加。京華日報社に入社。この年、{ほとゝぎす}発行が東京に移る。

Bushidou・1899=26歳：京華日報社が解散となり、太平新聞社に入社。

ピアノ国産化・1900=27歳：ホトトギス社に入社。結婚後、京華日報社に復社。

田中正造直訴1901=28歳：自宅で俳句例会を始め、

教科書疑獄・1902=29歳：\_子規没の死去後、新聞{日本}の日本俳句欄の選者を継ぎ、{日本及日本人}の俳句欄選者をつとめる。

日比谷公園・1903=30歳：日本新聞社に再入社。\*「温泉百句」を発表し、虚子との論争始まり、

日露戦争終・1905=32歳：\_小説「げんげん花」を発表し、漱石に賞賛される。

満鉄発足・1906=33歳：\_「三千里の旅」と名づけた全国旅行を開始、各地での見聞を克明に記録。描写と独特の文脈の飛躍、考証などによって個性的な随筆を残す。

韓国反日暴動1907=34歳：友人中村不折から贈られた拓本を見て感動、独自の書のスタイルも確立して行く。

アヲキ創刊・1908=35歳：\_大須賀乙字の示唆によって季題の効用に着眼、俳句の内容の複雑化を試み、新傾向俳句運動を展開。また、旅中に写生と季題の伝承的規範との矛盾に気づき、俳句を天然現象や生活現象に近寄せる方法として「無中心論」を提唱。俳句を作る際の人為性を排した。

伊藤博文暗殺1909=36歳：\_これらの成果が「日本俳句鈔」1集、

明治天皇没・1912=39歳：

大正政変・1913=40歳：\*同2集として刊行された。

21ヶ条要求・1915=42歳：{海紅}を創刊。

大正中期までに自由律表現と無季俳句を見せ、

本格政党内閣1918=45歳：

ベルリン条約・1919=46歳：芦屋に転居。大正日日新聞社会部長となるが、

大暴落・1920=47歳：解散となり、ヨーロッパ旅行に出発、

原敬首相暗殺1921=48歳：

水平社結成・1922=49歳：アメリカを経て、帰国。東京に移り、中央新聞社編集顧問となる。

関東大震災・1923=50歳：個人雑誌{碧}創刊、

治安維持法・1925=52歳：終刊して、同人雑誌{三昧}を創刊。

金融恐慌・1927=54歳：

\_昭和初期、ルビ俳句に移ったが、しかし、漢語に特殊なルビをつけることで意味の広がりをもたせ、短詩表現の幅を広げようとするこの試みは、俳壇の支持を失い、

満州事変・1931=58歳：

国際連盟脱退1933=60歳：\*還暦を機に俳壇から隠退。

日中戦争始・1937=63歳：腸チフスで、\_没した。